

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふり 氏 名	やだ 矢田 尚也
(研究テーマ名) 都市的心性としての競争志向性の背景と心理社会的帰結	
(研究活動実績) <p>本年度は、都市的精神風土と対人感情、対人認知、対人行動との関係を検討するため、他者と競争的關係に置かれることが、相手に対して抱く感情や印象、相手に対してとる行動に与える影響を、既存の実験データに基づき検討した。その結果、①尊敬と嫉妬は有能な人物に対して、軽蔑は有能でない人物に対してそれぞれ喚起されやすいこと、③尊敬を感じる相手には妨害や非協力的行動を取りにくい一方で、嫉妬を感じた場合には妨害行動をとりやすいこと、④軽蔑を感じる相手には協調しにくく非協力的行動を取りやすい一方で、同情を感じると援助的行動を取りやすくなること示された。また、これらの感情が、有能な/有能でない人物の印象評価に影響することも確認された。これらの知見は、他者に対して感じる感情の種類によってその人物に対する評価や振る舞いに変容することを示している。しかし、相手との関係性 (i.e., 競争関係) による対人感情や対人行動への影響は認められなかった。これは実験手続きの不備に起因するかもしれない。また、都市居住と競争志向性の関係については、都市の生態学的特徴 (i.e., 人口の流動性) から理論的に考察するに留まった。なお、上記の知見の一部を論文にまとめ『Urban Scope』に投稿した。</p> <p>【2013 年度研究業績】</p> <p>学術雑誌 1) Yada, N. & Ikegami, T. (in press) Compensation versus halo effects in competitive or cooperative social setting: Mediation effects of social comparison-based emotions. <i>Urban Scope</i>, 5</p> <p>学会発表 1) 矢田尚也・宮崎弦太・佐伯大輔・池上知子 (2013) 都市生活環境尺度開発の試み 関西心理学会第 125 回大会・口頭発表 (於和歌山大学, 2013 年 11 月) 2) Yada, N. & Ikegami, T (2014) Compensatory judgment in person perception and system justification. 15th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology (Poster presented at Austin, Texas, February, 2014)</p>	